



平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マルエツ

コード番号 8178 URL <http://www.maruettsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上田 真

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部長

(氏名) 渡辺 俊夫

TEL 03-3590-0016

四半期報告書提出予定日 平成25年7月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	78,894	1.9	288	△68.4	342	△60.9	341	△30.5
25年2月期第1四半期	77,428	△6.5	910	△61.7	877	△62.2	490	0.7

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 419百万円 (△14.5%) 25年2月期第1四半期 490百万円 (0.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	2.73	2.71
25年2月期第1四半期	3.93	3.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	135,463	62,736	46.0
25年2月期	134,090	62,427	46.4

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 62,309百万円 25年2月期 62,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年2月期	—				
26年2月期(予想)		3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	164,000	3.9	1,200	△27.1	1,100	△25.2	700	3.9	5.60
通期	326,000	3.3	2,500	24.9	2,000	19.0	800	△56.1	6.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細につきましては、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期1Q	128,894,833 株	25年2月期	128,894,833 株
26年2月期1Q	3,638,264 株	25年2月期	3,939,079 株
26年2月期1Q	125,030,466 株	25年2月期1Q	124,872,795 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料発表日現在における事業環境に基づくものであり、今後様々な要因によって、上記予想と実際の業績が異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の経済・金融政策への期待感による円安・株高を背景に、景気は緩やかに持ち直しているものの、海外景気の下振れの懸念等もあり、依然として予断を許さない状況が続いています。

小売業界では、一部高額品について消費回復の動きがあるものの、食料品等は依然としてお客様の節約志向や業態を超えた競争によるデフレ状況にあり、引き続き厳しい経営環境となっています。

このような状況のなか各施策に取り組みました結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は788億94百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は2億88百万円(前年同期比68.4%減)、経常利益は3億42百万円(前年同期比60.9%減)、四半期純利益は3億41百万円(前年同期比30.5%減)となりました。

セグメント別の業績は、下記のとおりです。

《小売事業》

小売事業につきましては、「生き残りをかけた『戦い』の年」を基本テーマに、「競争優位性の確立」「腰の低い経営体質の実現」「マネジメント力の強化」に取り組みました。

「競争優位性の確立」につきましては、自社の川崎・三郷複合センターの加工機能を有効活用し、即食性・簡便性の高い商品等、お客様の潜在ニーズに対応する商品開発に努めました。

「Tポイントサービス」は昨年度の導入以降、当社で入会されたお客様が70万人を超え、従来ポイントカードの利用が少なかった男性のお客様や30代以下のお客様にも利用いただいています。また、「Tカード」を活用した販促施策の一環として「商品ボーナスポイント」を開始しました。

中国事業につきましては、これまでに培ってきたスーパーマーケット事業ノウハウを最大限発揮した店舗を展開すべく、一号店オープン準備を進めています。

「腰の低い経営体質の実現」につきましては、自社の精肉・鮮魚の加工センターを活用し、店舗運営組織体制の更なる見直し等を図り、店舗作業の軽減と人的生産性の改善に取り組みました。

また、店舗におけるロスの削減に向け、廃棄発生要因の分析と検証、対策の立案と進捗管理の徹底を行うためにプロジェクトチームを新設し取り組んでいます。

「マネジメント力の強化」につきましては、店舗エリア編成を店舗規模タイプ別に見直すとともに、本部機能の拡充と実務教育機能を強化することで店舗現場力の向上を図っています。

新店は、マルエツ屋号店舗として神奈川県に長津田駅前店、武蔵小杉駅前店、平二丁目店、戸塚大坂下店を、マルエツ プチ屋号店舗として東京都に駒込中里一丁目店の合計5店舗を新設しました。また、建物老朽化による建て直しのため、神奈川県の間宮店、長津田店、埼玉県の大宮店を閉鎖しました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は272店舗となりました。

さらに、既存店の活性化を図るための改装を大倉山店(神奈川県)で実施しました。

これらの結果、小売事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は779億82百万円(前年同期比2.0%増)、セグメント利益(営業利益)は1億25百万円(前年同期比82.4%減)となりました。

《不動産事業》

不動産事業につきましては、前期にグループとして資産の有効活用及び財務体質の改善を図るため、資産売却を行ったこともあり、当第1四半期連結累計期間の営業収益は9億1百万円(前年同期比5.2%減)、セグメント利益(営業利益)は1億55百万円(前年同期比22.1%減)となりました。

《その他》

その他につきましては、業務受託事業、人材派遣事業、品質管理及び商品検査事業等で構成されており、当第1四半期連結累計期間の営業収益は10百万円(前年同期比21.3%減)、セグメント利益(営業利益)は7百万円(前年同期比628.2%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億73百万円増加し1,354億63百万円となりました。主に店舗の新設等により有形固定資産が増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ10億64百万円増加し727億27百万円となりました。主に買掛金が増加したことによるものです。

なお、有利子負債は、前連結会計年度末に比べ3億75百万円減少し326億6百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3億9百万円増加し627億36百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点では平成25年4月12日に公表した数値からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

なお、この変更が損益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,750	13,187
売掛金	1,834	2,317
商品	9,086	8,880
貯蔵品	63	57
繰延税金資産	637	829
その他	6,718	6,547
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	31,087	31,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,894	36,941
土地	27,512	27,515
その他（純額）	7,118	7,019
有形固定資産合計	69,525	71,475
無形固定資産	3,651	3,517
投資その他の資産		
投資有価証券	86	80
差入保証金	26,206	25,883
繰延税金資産	3,061	2,821
その他	1,019	407
貸倒引当金	△548	△539
投資その他の資産合計	29,826	28,652
固定資産合計	103,002	103,645
資産合計	134,090	135,463

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,506	19,130
1年内返済予定の長期借入金	1,951	1,880
未払法人税等	1,674	164
賞与引当金	—	782
株主優待引当金	107	98
商品券引換引当金	8	3
その他	9,077	9,847
流動負債合計	30,327	31,907
固定負債		
長期借入金	29,852	29,602
退職給付引当金	2,443	2,447
転貸損失引当金	568	490
資産除去債務	1,339	1,353
長期預り保証金	4,914	4,843
その他	2,217	2,082
固定負債合計	41,335	40,819
負債合計	71,663	72,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,549	37,549
資本剰余金	9,780	9,776
利益剰余金	16,807	16,721
自己株式	△1,950	△1,801
株主資本合計	62,186	62,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	—
為替換算調整勘定	—	63
その他の包括利益累計額合計	1	63
新株予約権	239	146
少数株主持分	—	281
純資産合計	62,427	62,736
負債純資産合計	134,090	135,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)
売上高	75,654	77,243
売上原価	52,601	54,337
売上総利益	23,052	22,905
営業収入	1,774	1,650
営業総利益	24,827	24,556
販売費及び一般管理費	23,916	24,268
営業利益	910	288
営業外収益		
受取利息	13	12
店舗閉鎖損失精算益	6	75
還付加算金	0	38
補助金収入	45	12
雑収入	25	18
営業外収益合計	91	157
営業外費用		
支払利息	66	72
固定資産除却損	12	20
雑損失	44	10
営業外費用合計	123	102
経常利益	877	342
特別損失		
支払違約金	19	—
店舗閉鎖損失	7	—
物流センター閉鎖損失	6	—
特別損失合計	33	—
税金等調整前四半期純利益	844	342
法人税、住民税及び事業税	497	93
法人税等還付税額	—	△129
法人税等調整額	△144	49
法人税等合計	353	13
少数株主損益調整前四半期純利益	490	329
少数株主損失(△)	—	△11
四半期純利益	490	341

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	490	329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△1
為替換算調整勘定	—	91
その他の包括利益合計	△0	89
四半期包括利益	490	419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	490	403
少数株主に係る四半期包括利益	—	15

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	不動産事業	計				
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	76,464	951	77,416	12	77,428	—	77,428
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	60	139	199	490	690	△690	—
計	76,525	1,090	77,615	503	78,119	△690	77,428
セグメント利益	709	199	909	1	910	—	910

(注) 1 「その他」の区分には、業務受託事業、人材派遣事業、商品開発事業、ポイントカード運用事業、品質管理及び商品検査事業を含んでいます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	不動産事業	計				
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	77,982	901	78,884	10	78,894	—	78,894
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	56	123	180	482	662	△662	—
計	78,039	1,025	79,064	492	79,557	△662	78,894
セグメント利益	125	155	280	7	288	—	288

(注) 1 「その他」の区分には、業務受託事業、人材派遣事業、品質管理及び商品検査事業等を含んでいます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

なお、この変更が報告セグメントの損益に与える影響は軽微です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。